

さかえ

三月号



栄村公民館

資料提供：花開孚夫氏(つくば市金田)
編集：木村 滋

日輪寺の晩鐘

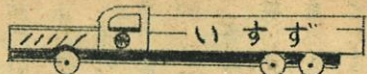
栄村十景

今を去る約七十年前、後鳥羽天皇の御代、京都醍醐三空院の座主、親快大法師開山、後小田家の祈願寺として、又御米印寺として栄へた。日輪寺の東南隅に建つ朱塗りの鐘樓から、朝夕莊重な妙音を送る梵鐘は開山以來三回目、古來出身の成功者 沼尻芳一郎氏施主となり、眞壁町の御鐸物師 小田部庄右工門氏によつて、昭和二十五年十月謹鐸されたものである。夕陽沈む頃、一日の仕事を終り、銀を肩に家路に急ぐ時、乳色にたちこめた夕霧をついて、余韻嫋々と響いてくる晩鐘の音は人々の心を言ひ知れぬなつかしさと、落着とをみへてくれる。崇高な、そして平和な晩鐘の静寂音は、今日一日の無事を感謝し、明日への力強い出発を励ます。み佛の声であり、村民の心の糧であらう。

安らげく 一日終りぬ ぼのかにぬ
訪れわたる 夕ぐれの鐘——楷秀記——

目次

表紙 日輪寺の晩鐘	栄村十景	浦田 正夫
題字	藤沢 三郎	
扉 解説	菊池 精秀	
村の生産問題を討議す	一	短歌
中学校から	七	栄音頭が出来ます
小学校から	九	農青連の課題
新語豆字引	一〇	人事消息
俳句	一〇	誌上宿題の回答
部落自慢	一一	婦人会だより
村のNO-	一二	栄村将棋会開催
青年会の動き	一二	白米生産費調査説明
主婦の手帳	一三	農事メモ
農協ニュース	一四	バス時間表
		二二



村の生産問題を 討議す(座談會)

日時 三月九日の夜
場所 農業協同組合議室
出席者 農協組合長 久松 茂
農協副委員長 豊島 実
古来生産組長 豊島 正雄
犁耕教師 本橋 一男
農事課委員長 宮本 勝延
農協生産部主任 大津 治雄
司会者 大久保野三郎

久松 御多忙中の所を夜分御参集を願ひまして誠に恐縮です。只今から本村の産業各方面についての座談会を催したいと思ひます。今晚お集りを願ひました各位は、本村産業部面の権威者でありますから御遠慮なく御意見を發表されまして、充分の御討議を御願ひ致します。

大久保 只今組合長さんの申されました通り産業部面の実践的御意見の御発表を御願ひ致したいのですが、
① 大体、本村の農地に関して農地の合理化、改善、土地改良、畜力應用、稲作と蔬菜との利害關係、蔬菜の現

在の設計と將來の見通し、育苗等の要点について御討議を願ひます。先づ柴村の農業経営改善、労力の分配について御意見を願ひます。豊島さん如何です

豊島実、突然でどうもね。

大久保 時に耕地の分布状況はどんな状態です。

豊島実 大略ですが、田が二四六町、畑が二四四町でそのうち麥作が一三六町、桑二〇町、煙草六町七段、蔬菜は春作と夏作では大分違いがあるが大体七〇町歩位です。この耕作地のうち改良すべきところが多々あります。この耕作地のうち改良すべきところが多々あります。この耕作地のうち改良すべきところが多々あります。

本橋 同感です。労力の合理化に就ても、中根などは田の水利が悪いので早魃の時などは水汲みに大部分の労力を使つてしまひ畑作などそつちのけになつてしまふ状態なので多角形農業は中々困難です。何といつても水利の改良が最大の急務です。

宮本 横町の場合は又別で何しろ耕地が極端に散在してゐるので、辨當持ちでなければ仕事が出来ず、実に不便です。

久松 全く、横町では自分の耕地をたゞ見て歩く

けでもたつぷり一日かかつてしまひますね

(2)

宮本、そうですね。午前中松塚の仕事をして午後は金田の台へ行くと言つた調子ですから、田植の時などは、行つたり来たりに暇がかゝる關係上、松塚地内の田植がまだ、陽が高いうちに済んでも金田の方まで行くうちに日が暮れてしまふから、その日は中止して明日金田の方へ出直すと言ふやうなわけで、横町では何と言つても農地の交換分合が一番急を要します。

豊島実、大村は又農道が悪いのと田が深いので畜力利用が出来ないのが缺陷ですね。家畜が多ければ堆肥が沢山できる。堆肥が多ければ多い程畑が肥えると言ふわけで、一石二鳥なんですがね。

大久保 大きにそうですね。所がこの頃は年々の水不足の爲に田が浅くなつて来て畜力應用が出来そうですね。とに角大村では暗渠排水事業が必要ですね。

豊島正雄 古来は又別で土質の關係上排水が非常に悪いせいか牛馬を毎年入れてゐると段々深くなつてしまつて牛馬が入れなくなつてしまふが、どうしたものでしょうね

本橋 結局、客土と暗渠排水以外に方法がないと

思ひますが、之が又実行不可能と言ふ事でしょうね

大津、要するに柴村は部落によつて大変相違があるので一概に行かざる全面的な農地改良が必要だと言ふことになつて来て結局実現の見通し悪しと言ふ訳です。大久保 色々御意見が出ましたが、大部悲觀説になつてしまひました。切實その道の権威者にお集りを願つたのですからもう一歩進めて土地改良についてはとれが一番実現可能で且つ急を要する問題でしょう。

宮本 先ず柴村全体の水利施設でしょうね 例へば櫻川の水を上境の台へ引き揚げて流すような

一同、大いにそうですね。之は是非共実現したいことですが今迄何回も計画されたのに実現しなかつたが、どう言つ理由で実現しなかつたのでしよう。

豊島実、それは用水と排水と經濟問題です。

豊島正雄、そうですね。用排水の利害關係の対立です。排水の悪い土地は余り水が入つた時には、千すのが実に骨が折れるのです。それにはどうしても個人主義思想の打破と公衆福利精神の培養が先決問題です。

切實作成し始めた土地の高低表すら立消えになつてしまつたやうな仕末ですがね。

久松 要は村民の自覚と熱意ある指導者の出現です。烈しい熱意を以て村民を引張つて行く力の人が最も必要です。中根がい、例です。中根は小規模作らぬ水利施設が出来た為には畑作まで良くなりました。

本橋 確かにそうです。野良井戸の水汲みの労力を幾分なりとも畑作業に廻せるやうになりましたから。

大久保 結局、稲作と蔬菜とは水利に結び付くわけです。次に畜力利用と耕地の培養についてどうも。

豊島正雄 田畑一町五反に對して牛、豚各一頭、小動物若干と言ふ所が理想的で、踏み糞を小便でぬらさないように家畜舎の改良することが先決問題で、小便でぬらした糞は堆肥にするのにも不都合でもあり、又、兼の経済上にも大きな違いがあります。どうしても家畜舎の敷地はコンクリートで固めて外部に尿溜をこしらえなければなりません。

豊島実 蔬菜を大きくやればやる程出荷用と床の踏み糞が多く必要になるから、兼を経済的に使ふ事をよく考へておく必要があります。

(3) 本橋 柴村は田への畜力利用は進んでいるが畑への利用が遅れてゐるから、それを進める必要があります。

殊に柴村のような蔬菜地は、畑を何回も切り更えるから畜力を利用しなければ適期を失して良い作が出来ないので畑には時間の經濟上畜力利用は特に効果的でこの点、大いにお奨めしたいと思ひます。

大久保 耕轉ばかりでなく作開草作業の畜力利用は如何でしょうか。

豊島正雄 田の除草は柴村では駄目でしょう。もつと土地を改良しなければ何ともやりようがありません。

豊島実 そうです。土質にも関係がありますが、何より、灌、排水が便利な処でなければまずいでしよう。

水が深くなければ藪の損傷が多くて効果が無いし、何よりも区割整理がなければ出来ません。

畑の方も、畑に大小がありすぎて向きませんが、中根、金田、吉瀬は何とかなるでしょう。何と言つても

畑の耕起しには畜力が絶対的に必要です。兎に再手耕に困難な畑ほどやり易くその上作物がよく出来ます。

主食と蔬菜の平行した作業は余程早く立ち廻らなければならぬので、私の所では畜力なしには適期を失してしまふので現在の半分も作れません。

大久保 そうでしょうか。色々と参考になります。

(4) た。次に蔬菜經營の見通しと設計についてどうぞ。

豊島実 組合発足当時計画した通り、夏のトマト、秋の白菜、冬の葱とに重点を置く。柴村の三大特産物に馬力をかけ、他の品には余り手を出さない事です。

久松 その通りです。特に葱は有望ですが、それだけに大いに改良すべき点があります。組合で扱ふ品が実にまちまちです。

豊島実 もう少し研究すれば千貫の目標は案々達せられます。現に千貫收れているんですからね。その第一條件は何として九月中にうんと発育させること、つまり植えつけると同時にうんと伸ばす事が大切です。

久松 その方法は、本橋 第一が土質を良くすること、つまり有機質をうんと入れることです。

豊島正雄 それと共に植え肥をうんと施り追肥を早く入れる事が必要です。

大久保 葱は生肥をそのまま使つてよい、と言ふけれど、皆さんはどう考えますか。

豊島実 確かに、のだが、施肥が困難だし、柴村の蔬菜は衛生的だと言ふので好評なのですから、なる

べく生肥を使はず堆肥を沓山入れるべきです。

久松 それは勿論です。生肥を使ふと商品価値が下がるから絶対に使ばないで下さい。それと品種の統一と荷造りの改善に注意してもらいたいですね。

豊島正雄 去年の相柄はよく伸びたが寒さに弱くそれに頓過ぎたから、赤に近い相柄か、赤昇かに統一する事がいいでしょう。それと同時に霜に強い事が要件です。荷造りの点では古來が一番理想的にやつています。

久松 葱作りは實際有望ですから、うんと作つて、研究し、良い品を沢出して下さい。またトマトの金が入るまでの農家經濟には葱は実にいいです。

大久保 豊島さん、御宅の今年の目標を発表してくれませんか、大体の処で結構ですから。

豊島実 そうですか、私の家では田反余畑八反で供出目標三十五俵半の兼を利用して春果菜はトマト一反

一畝で三千本、胡瓜四畝で千本、茄子四畝で八百本

秋の白菜が三反、冬の葱が二反(苗は七畝位)を目標にしてゐます。葱は土を十一月中にまを二月と三月に出荷します(葱の出荷は遅い程有望ですから)

つまり%にする。白菜三、葱二、トマト一でその他キマベツ。余播等の割合です。トマトは非常に労力を要しますから田の多い人は、トマトの%をもつと減らすべきですね。

豊島正雄 トマト一、葱四五、白菜五、位が一番いいでしょう。私は大体その方針です。

大久保 次にトマトの育苗方法を研究しましょう。

宮本 トマトの温床には板より石灰窒素のほうが

良いと言いますが、如何なものですか

大久保 私は一坪一坪位使います

大津 どの辺え踏み込みますか

大久保 上の方はいけませんね。ガスの害はないし窒素が熱を持ち過ぎるような心配はないから中間が良いと思います。

豊島実 石灰窒素のいが、私は鶏舎の土埃が一番良いと思います。量は、かげんで良いし、八日位経てば三十八度の熱は出ます。

本橋 温床え雨水が入ると不整列になるが、雨水を

防ぐ一番簡単な方法はどうしますか

豊島正雄 その点私も苦心してゐます。苗の不整列

ばかりでなく、雨被をしないと側溝の水がしみこんで熱をとりますから余程注意する必要があります。先づ形にトバを切るのが一番簡単でせうね。

豊島実 それと同時に降雨の際には硝子をすかせて置く必要があります。余り苗を可愛がり過ぎることは大禁物です。

大久保 第一回移植とその後の管理については

豊島実 とうもろ私一人で喋舌つてゐるようで工合が悪いですが、先ず本葉二枚目が微かに出た時、つまり播種後廿五日頃移植するのが秘訣です。苗は大小を分けて植え、移植回数は少ないほうがいいです。スクスクとのびる丈けのばし、植付の時幾分やわらかい位のが良苗です。トマトに限り抑制は絶対に禁物です。

八十日間で一人前の苗になるのが最良な状況でしょうね。定植前一週間は日光の直射と水分の充分な補給をして丈夫な苗を仕立てることが絶対大切です。

大久保 第一回移植後の灌水は絶対に如露で上からかけないようにし必ず土瓶のようなもので間へそつと流してやる必要があります。これは大事な事です。

豊島実 埴土は、トマトは重く(田の土の風化した

のを三十%混ぜる)キウリは軽く(反をませる)を三

取とします。埴土を干し過ぎる事は大禁物です。

豊島正雄 反を混ぜると発芽を非常に遅くするし、

植付前に灰をふつて混ぜて植えるのは大変効果的で、

キウリ作りの必ず実行すべきことです。

大久保 司会者が少々口を出し過ぎて申し訳けありませんが、灌水には風呂水を十時頃かけるのが一番良いようです。それと各々作物の特性を生かし、環境の最も良い状態に置いてやることですね。

豊島実 大きにそうですね。アクラ植へをしなければならぬ程伸ばしてしまふやうでは既にトマト作りの資格がない。と言つても良い位でしょう。

大久保 組合長さん、栄村の果菜の出荷方法と、將來の見通しに就て御意見を願ひします。

久松 トマトは一貫双箱、粒を揃えて大体十八個入位にしたいと思ひます。箱は注文しましたが柄格の關係あまり上等な箱ではありません。東京市場を主とします。組合の方にも多少欠点もあるでしょうが、目前の利益のみにはしつて統制を乱し、業者につけ込まれたら栄村の果菜は半分さき売れなくなります。個人主

義を捨て、もつと組合精神に生きなければ、結局自滅するやうな事にならないともかぎりません。

豊島実 切角こまを組んで来た果菜の組合です。

とこまでも続けて行かなければなりません

豊島正雄 何と言つても、日本一の果菜にまで滑り付けた栄村の名を落すやうな事はしたくありません。

久松 兎に毎栄村の産業は相嘗進歩したことは事実だが更に進歩を目指して村民全部が大きな目を開き進むべきで、名前ばかりの文化が先走つて、産業が後から追のけて行くようでは駄目です。主食は勿論重点でなければなりません。蔬菜は既に副業ではなくなつてゐるのですから、村當局も更に大きな目を開いて産業方面に力を入れて下さることを願つと共に、村民各位も更に本腰を入れて研究と努力とを進められる事を切望します。

大久保 全くです。産業を離れたの栄村文化は、在り得ません。もつと、実質的な農村文化を押し進めて行きたいのです。また色々御高見もある事と思ひますが、時間も既に十二時過ぎですから今晚はこれで閉会させて頂きます。御苦勞様でした。

栄学校通信



中学校から

○ 去る二月十九日、全県下一齊に行はれた高校進学学力検査の成績が、廿八日各出身学校長に報告されて来ました。本年は前年度に比し、試験課目の必修教科目全課にわたつて行はれ、試験内容も前年度よりむづかしい感が致しましたが、受験者のためまざる努力と、家庭のよき指導とによつて、前年度より上廻つたよ成績を収めて居ります。

各希望高校への願書提出は、三月六日より十五日まで、審議の上、三月廿三日に各高校に於て、合格者発表が行われます。本年は前年より県全体に於ても受験者が二割強多くなつて居り、特に此の第五学区は他区よりも多いと、観測されますので、出願に當つては保護者、本人、学校三者合議の上、最適学校を選ぶ事が將來の為に望ましい事をお考えの上、慎重を期して出願して貰きたいと思ひます。

○ 第六回実験学校研究発表会を催しました。県指導課より賀屋郁雄先生、鈴木茂乃夫先生長坂和夫先生、新治出張所より小倉武雄先生の四講師を迎えて、本年度最後の研究発表会を開きました。学年未だ多忙の爲、参加者の数は少なかつたが、本校が万難を排して目的達成の爲に努力した事に対し、又面を重ねるに従つて進歩発展しつゝ、ある事を認められ、その努力に対して賞讃を戴いたのでありますが、父兄の皆様は、その少なかつた事は、一抹の淋しさを感じました。

○ 大子供会表彰さる

昭和廿五年度の子供会活動状況については、民生課児童課に於て、各子供会について調査して居りました。本村大子供会が郡下最優秀子供会として、栄冠をから得ました。昨年栄村子子供会が表彰され、今又続いて大子供会が表彰の栄を得たことは誠に喜びに堪えません。三月四日、恰も梅香る梅都、茨城会館に於て県下五十四子供会の表彰式が行はれ、親しく友末知事より賞讃と激励の詞を戴いて、代表者一同感激し、益々奮力する事を誓つたのであります。

○ 光陰矢の如しと言はれますが、入学以來三星

(8) 輻、ひたすら学業にいそしんで来た三年生、堂々の功成つて目出度く母校を巣立つて行きます。小学校に幼な心をほすませて入学してより学び來し九年間、治乱興亡の世に在つて、彼等は何を學び得たでしょうか。嵐に吹かれ、冷い雨に打たれた心には、今尚癒されぬ何物かを胸に秘めて居るのではないでせうか。今彼等は波風高き実社会に、羅針盤なき小舟を乗り出さうとして居ります。願はくば、世の人々よ、このか弱き雛を温情溢るゝその双翅の中に育まれん事を。

昭和二十五年卒業生名鑑一覽表

石塚文夫	磯山幹司	岡田守男	久保田貞夫	酒井茂
塚本 久	豊島正男	本橋静夫	平島忠男	沼尻 晃
大山信也	上方 進	酒井二郎	酒井義則	本橋邦夫
本橋 武	矢口 真	岩瀬あけ子	五頭良子	酒井敦子
酒井文子	酒井こう	佐野ちづ子	高兼弘子	中村正子
沼尻と子	根本繁子	廣瀬須美子	室町菊江	諸井享子
久松はる	里見秀子	豊島静子	酒井光江	黒田つる
片岡たか	酒井久子	以上三十七名	A組	

三月行事予定表

一日	古来部落PTA	二日	金田	五日	大
六日	横町	七日	松塚	九日	土器屋
十日	中根	十二日	上境	全上PTA	
十五日	十六、十七日	三学期末考査	十八日	学芸会	
十八日	卒業生裁判所見学	二十二日	卒業式		
廿七日	高校合格発表				

小学校から

PTA 実行委員会報告

皆様の絶大なる御援助によりまして、学校図書購入

寄附金左記の通りの好成绩にて募金が出来ました。誠に皆様の教育愛の賜と深く感謝致して居ります。

記

上境 八七一〇円 五五八 中根 一六〇三〇円 七七
土器屋 一六一〇〇円 七三三 松塚 六七一〇円 四五
大 一五三六〇円 六四 横町 三七七〇円 三〇
金田 一三五二〇円 七七八 古木 一二七五〇円 四九
吉瀬 九七五〇円 五五八 其他 二三〇〇円 五
計 一〇五〇〇〇円 五三〇人
右金額の配分については

小学校用図書 四五〇〇〇円
中学校用図書 六〇〇〇〇円と決定しました。

○ PTA 部落懇談会

二月廿八日から部落懇談会を致して居りますが、各部落の皆様の御出席を感謝致します。三月十二日を終了致し、十五日にPTA学級会を開き、本年度の最後の反省と新年度の役員候補者の選出の急の委員会（学級代表者）を致し度く存じますので、御出席を御願ひ致します。

○ 新入学児童について

本年度の新入一年生は、五三名であります。入学前に父兄の皆様は二三の御願いを致します。

- 一、名前をおぼえておくこと、ひらがなで自分の名前が読めることは、第一で、出来れば書けることが望ましいのです。
- 二、返事の習慣をつける。自分の名前を呼ばれたら、はつきりと返事が出来るようにしておいていただきます。
- 三、お話がわかるように、かんたんなお話が聞けたり、自分で用事が言えるやうにしていたがきたい。
- 其の他（部落PTAの問題となつた事項）
- イ、学用品の一括購入、学用品は一年間一定の額を積立て、一括購入し、記帳するやうな方法は如何、これにより忘れる事も少くなり、又、途中の無駄使ひ防げると思ひます。
- ロ、貯金、子供組合の貯金を奨励して下さい、との要望が強い。
- ハ、買食いの防止、買食いが最近激増したので、不要な金は持たせないやうに願ひます。

○ 昭和二十五年卒業生名簿

新語豆字引

P・T A (英語) Pはペマレンツ(両親) Tはティーチャー(先生) Aはアソシエーション(会)の頭文字で、父母と先生の会の事
アラモード (フランス) 新型、流行型
ホームズパン (英語) ホームワ家庭 スパンワ紡ぐの意味で、日本の手織と同じやうなものを、外国では、毛糸の手織を主とする
アフレ・ケール (フランス語) で戦後派とゆう意味で戦後の文学の新人等と呼ぶので、実際は普通考へてゐるやうな悪い意味ではない。

小松崎 香子 増山 和子 佐藤 明子 岩瀬 とし子 木野 ふじ子
豊島和美 根本昌子 五頭 喜代中 島 芳子 根本 壽子 横田 久子
酒井 一郎 酒井 重夫 深見 幸彦 大里 忠臣 本橋 恒夫
下村 誠 片岡 宏之 岡田 泰義 中村 三郎 沼尻 秀一
塚本 清 杉田 昭明 島崎 捷 木村 清 沼尻 正
諸井 隆 鈴木 守夫 久松 繁 豊島 治男 小神野 弘士
豊島 健彦 藤沢 万世 岡本 一男 岡野 晃 沼尻 げ子
平島 芳枝 平島 廣子 岩瀬 よし 平島 まつ 本橋 美代
宮本 重代 金村 米子 飯島 たけ 酒井 ふみ子 沼尻 まさ
久保田 光子 酒井 喜代 酒井 和子 酒井 和江 島田 政子

栄村新年俳句会

兼題 録初 雑詠

席題 梅 雑詠

雪花 雪初めや安住の地をこゝときめ
晋雪 雪初めやほのほの暁の色動く
月夜 掃初めや金裁の位置取り替へて
霞峯 雪初めと言えり御儀も常陸ぶり、
暮村 父は畑子は田をそれと雪初め
柴泉 講和への道遠からじ御代の春
峰雪 老農夫慮方並びて銀め
清桜子 ひたら野は静かに明けて銀初め
亮重郎 銀初め星明りあり脊戸畑
たかし 電工夫満開の梅を切れと言ふ
月夜 吾が生れ家と聞く屋敷梅盛り
雪花 まだかたき梅の蕾や一の午
霞峯 梅林の奥に展げし海蒼し、
晋雪 陽を受けて梅さかりなり堀の水
暮村 役解けて心も軽ろく初句会
柴泉 大寒も平気で咲くや梅の花
駒治 咲きそめし古木の梅に朝の月
たかし 梅いまだやぶれ小瓶に風寒し
幸之助 山焼の火赤々と黄昏るる
清桜子



部落自慢

体見神社

上境

祭神三社、天麻比土都命 天津日子根命、建許呂命
 往昔此の辺を菅田郷と称した時代よりの神祠で、三代実録所載の「仁和三年五月十六日、常陸の正六位上菅田神に従五位下を授く」とあるのは、之の神社であることは幕末の史家の著しく考証せられた所である。

祭神三柱は菅田首の祖神で建許呂命は神功皇后の朝に仕へた人である。其の子孫のうち、筑波使主、茨城國造、茨城湯坐連等の職に任せられたことが古史に見えていゝ。昔は菅田明神と稱せるを、今は体見明神と稱せられるのは、寛永廿九年九月に丸橋忠弥が此の神社に参詣の時、神苑の藪を「すがた見の藪」と詠んで行つたのが其の項より「体見明神」と誤稱せられたものと考へられる。昔は境内地も二町歩以上あつたのが明治維新の際、鄙の神社、としては広大すぎるの理由で四分の一以下に縮小せられ、余は没収せられたのである。先の境内地から時々鹽輪が出土するとい

ろから見ても、古い時代からの神社であることが証明されよう。
 神社に現存する古額の歌が、丸橋忠弥の詠んだものだという誤つた傳説を解く爲に左に掲げて見よう。

○古額の御詠歌三首

こひしくば 尋ねても来よ 常陸なる
 すがたが滝の 流ればそみち
 下野の ほりがねの井に 水なくば
 すがたが滝の 神とよばれし
 ほととぎす、今や鳴くらん 常陸なる

○丸橋忠弥の詠んだ歌 (酒井新氏蔵)

世の中の あだに過ぎ行く 鏡には
 だか名にたてし すがた見の滝

これによつて、傳説の誤りであることが明らかである

○上境にありし俚諺

○木挽き唄

どんとくと鳴るのはとこよあれば上境の滝の音、
 栄さん恋しや行くさきやとこよわたし、上境の滝の音

○麥搗き唄

○麥がつけたか色男 見るにや及ばぬ つけておる

○おさん起きろよ 夜があけた

朝のおまゝが 晝となる

○向ひ小山の百合の花 咲くも咲いたや ゆうくと

○麥打ち唄

○まてならいつまでも 柳新芽の枯れる頃

○柳新芽じやまだ愚か 共に白髪が生えるまで

○共に白髪じやまだ愚か 石の土台のくさるまで

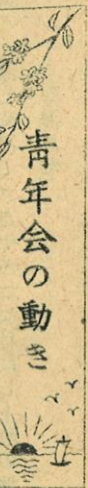


世の中に早起の人は深山あるけれども、人も知る岡

田節二先生の早起きは村内余りにも有名な事実である。

医師とゆう劇務に在り乍ら 雨の日も風の日も朝食
 前の往診に自轉車を走らす先生の、三十年一日の如き
 精勵振りは よくあの年輩で、と舌をまく次第である

早起が如何に保健上大切な事であるかを承知して居
 乍ら、早寝坊も病氣の一つであると自慢する世の人々
 よ、良業を欲するならば、すべからく岡田先生の瓜の
 垢を敷じて飲むことである。



青年会の動き

小遣銭調べ

一國の経済状態が、その歳出面に最もよく反映されて居るように、私生活に於ても、その生活が、どんな状態にあり、又如何なる方向をたどりつゝあるかを知る爲には、それが最もよく反映して居る所の毎日支出される諸経費を觀察する事が、最善の方法ではないかと思ひます。例えば、文化教育部面の支出が多ければ、その人が如何に教養を高めんとして、努力しているか、伺はれ、又反対に、快樂的方面への支出が多ければ、如何に浪費的傾向を有してゐるか、伺はれる。勿論一つの事を以て判断を下すことは早計であり、諸々の再度から考察し、判断しなければならぬ事は、言ふを俟たないし、又それによつて、種々の考察を遂げる事も可能である。

斯かる意味で、此処に本村の青年男女を対象としてこれを性別、職業別に、一ヶ月に於ける諸経費額の調査を試み、その結果として得られた、細やかな統計資

料を掲げることについて、村民各位の多角的な判断に之を委ね、次の村を買って立つ、二十代の青年層への関心を、更に深めて戴きたいと希心私の意図も、あながち意義なしとはしないと思えます。

農協青年の世別、職業別に於ける

経費支出統計表

支出別	世別		職業別	
	男	子	対	小
交際費	300円	300円	100円	300円
娯楽代	1350円	800円		200円
交際費	600円	40円	80円	80円
日 費			100円	50円
交際費	150円	150円	100円	150円
雑費			200円	500円
其の他	250円	300円	200円	400円
合 計	2650円	1590円	780円	1430円

○米村青年会選挙管理委員会の動き

第一次選挙(十日頃) 管理委員会中互選により各支部に於て候補者中より之を選ぶ

第二次選挙(十五日頃) 全会員之を互選す

注 被選挙権者満二十歳以上二十五歳以下

○昭和廿六年度 正 副支部長

上境正酒井繁好 中根正小林 守 正飯島保一

副酒井 昭 副平島三郎 副須藤茂雄

全酒井久子 全飯島ひさ

松塚正久保田仁 大 正酒井 茂 横町

副久保田盛男 副整部静男 未決定

全久保田とし 全大山美子

金田正片岡修一 古來正寺田次男 吉瀬

全沼尻幸子 副久松久男 改選を行はず

副増山 茂 全豊島光子

全沼尻静子

法地の裁ち方

手帖の裁ち方
法地でペラ／＼した布を裁つ時、布がすべつて、思ふやうに裁てずに困るものですが、裁ち板の上に毛布を敷いてその上で布を裁つと、布がすべらずにきれいに裁てます。

農協ニュース

茨城農民総参加貯蓄運動

昨年未より展開された、茨城農民総参加貯蓄運動は皆様の絶大なる協力によりまして、老千六百参万円(内定期六百万円)と言ふ県下に於ても優秀な成績で終る事が出来ました事は、実に嬉ばしい事です。

殊に一戸當り平均貯蓄高 参方七千円は、茨城県下のみならず全国でも稀に見る好成绩でしたことは第三回茨城県のり定期貯金参百万円突破の成果と共に、皆様既にラジオ放送によつて、御承知の通りだと存じます。

二月十日、皆様の参加のゆゑに行われた 第三回みのり定期貯金の抽籤会の模様を御傳へ申し上げます

- 一、開会の辞
- 一、組合長挨拶
- 一、茨城信連土浦支所長挨拶
- 一、たのしみ定期貯金感謝状贈呈
- 一、みのり定期貯金表彰状傳達
- 一、村長祝辞
- 一、立合人紹介
- 一、抽籤人紹介

一、抽籤 一、當籤者番号発表 一、開会の辞

終つて 昭和劇団の演劇

第一回茨城たのしみ定期貯蓄運動に當り、平先消化に盡力された左記の方々が感謝状を贈呈されました。

總代 飯島重夫、藤沢達 豊島美、藤沢勤兵衛 根本

元一 五頭良雄、久松源吉 小倉松三郎 根本一元

根本茂治、室町正 豊島正雄 塚本清 酒井新一、

岩瀬仲、豊島きよ 酒井りん

抽籤立合人、根本元一、五頭重儀 小倉松三郎 室町

竜一郎 室町豊吉 大津忠雄 岡田節二 根本茂治

栗原村農業協同組合代表

抽籤人(矢吹き)

酒井澄子 飯島ひさ 室町芳江 室町初江

第三回みのり定期貯金當籤番号

一等 一三二三(一本) 二等 一四一〇

一三六八(二本) 三等 一〇〇五

一〇九〇 一三二五 一四九七 一三七四(五本)

四等 〇八 六二 八三 七一(下二桁が上記の番号

を有するもの、二十本)

五頭 残り番号全部

短歌

米村新年短歌会詠草

於愛月莊

春に向く目抜の巷さわのきて街頭易者を人等かこめり

大久保月夜

大霜にひそまりつゞく小松原を圧して寒し朝の曇りは

塚本 暮村

清潔な白い障子いつぱいに陽がさしていて雪の落ちる

相沢 和幸

買った米袋に納めゆえさかるかまどの前で番茶よばれ

飯島幸之助

五年前吾入院せし窓の辺にかすかにゆれる白き縋帯

大久保きくの

婿といふ意識は去らずつゝしみて談笑の座にわれもま

飯野 忠雄

巻一ぱいにつめてもやつと百日に満ため値が高菜取り

酒井 茂

急ぐ

酒井 桂花

鶯は庭に來鳴けと心憂し巨額に上る吾が相続税よ

永田 晋雪

ゆはし

ほろ酔にもつ盃の金文字よ女の顔がゆれて去來す

寺田 麥村

萌え出する若草の芽のはつらつと伸びゆく如く子は育

ちゆく、

沼尻亮重郎

新らしき制度となりて子は嘆く相続税の苛き現世

飯島 峰雪

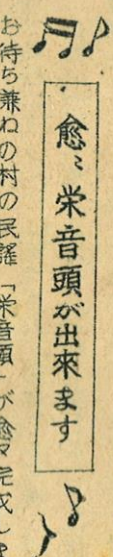
かわい、とあつい口づけをしたことが古い思い出となつ

て春立つ

松本 雷子

名前ばときかれて直ぐに言いかねつ仇名がすつと頭か

すめる。



愈、米音頭が出来ます

お待ち兼ねの村の民謡「米音頭」が愈々完成しまし

た。詳細は次号で発表しますから何卒御期待下さい。

歌詞は、歌詞作成委員に於て審査決定したもので、都

々逸型に、独得の確をつけた歌い易いものです。

曲は、現在放送局に勤務されてゐる名作作家の細田義

勝先生です。果して如何なる名曲が生まれませうか。

振付は、花柳美代先生にお願ひする事になりました。

発表会は、四月中旬花見の頃開催の予定です。



農村青年連盟の課題

其の三、結び 今後にくるもの 五頭、武雄

農業経営の先端に立つ農青連の使命が、今後のわが村を、盛衰何れかに導く原動力であることは、前に申した通りであり、村民拳つて農青連の革新的活動を期待しているのであり、之が前途には幾つかの村づくりの大事業が待っている現下に於て、農青連の今後にくるものは何であらうか。

第二年目を迎えやうとしている時、吾等は先づ、過去一年間の歩み來つた足跡を振り返つて、自らの眞の姿を反省し、評価するところに二年目への課題が存し、一步前進の道が拓けゆくであらう。

時恰も、県當局でも農青連結成の機運に至つてゐる今日に於て、わが農青連の姿を評価するも又、農青連に通ずる何等かの意味が存すると思ふ。私は、此の意味に於て、先づ事業の根幹をなす、次

の二つを、今後に向へられた課題としたい。

第一に、合理的な運営が行はれたであらうか？ 現存の運営に満足出来るであらうか？を考へて見たい。

農青連の存在が必要であるとは申し乍ら、それだけ、現在に於て、村民から期待されている程の実質的価値があるだらうか

幾つかの事業を行つたとは言へ、会員総意によつて実行されたものは何程かあつたであらう。や、ゆすれば、幹部によつてのみ運営され、幹部のみが熱心で、会員がついて來ないといふ結果を生じることは何を意味しているか。總ての団体に於て、事業を行ふ前に自らの土台を確立して、事業と共に助長してゆく所に

社会的存在の價値が有するものと思ふ。かかる意味に於て、農青連を生かすも亡ぼすも、会員の責務であり、之が結果如何によつて、今後の農青連は左右されるであらう。されば、これからの運営の在り方についての研究課題も、こゝに存することを強調したい。

第二に、村との関連性を如何にして來たか？ 村内各種団体の結合に於て、常に村との緊密なる連携の下に、家庭から村へ、村から家庭へと絶間なき文化

人事消息 (二月) 戸籍係

出生の部

出生月日	氏名	大字	父	母	続柄
一、三	飯島千枝子	土器屋	茂勝	千代乃	長女
一、八	登島初江	古来	三郎	イエ	長女
一、一三	大塚しげ子	矢作		よと	
一、二三	本橋 昭子	中根	正美	つや子	長女
一、二六	大久保早苗	大	信義	静子	式女
二、七	平島 一男	中根	富男	さく	長男
二、一	沼尻 紀子	横町	一朗	健子	二女
二、二三	根本くに子	吉瀬	実	栄	長女

死亡の部

死亡月日	氏名	年令	大字	筆頭者との続柄
一、八	酒井 仙吉	八一	大	三郎左門 父
一、一三	酒井彦五郎	七五		安三郎 養父
一、二五	豊島 のぶ	六六	古来	正雄 母
二、七	望町 なを	三九	中根	三郎 妻
二、二〇	大津くに	八四		藤重郎 妻

(17)

の交流があつてこそ、各種事業の價値が存するのであり、かかる意味に於て、郷土産業の一端を担ふ、農青連と村の産業施設機関との関連はどうあるべきか、現在、村に發つひの有名無実の機関があることは事実であり、農村にとつて必要である機関であり乍ら必要に思はれない今日、農青連は如何に之と協和して之が活用を促進し、農村文化団体としての基礎を確立するかが、第二の研究課題であると思ふ。

以上二つの要点を申し述べましたが、要するに第二年目を迎えるに當つて、思ひ新たにするものは、心の和でありたい。総て事業を行ふに最も必要なのは會員各自の努力と協和とであり、今こそ會員諸氏は農青連への認識を深め、その青筋の大なるを自覚し、使命達成に邁進せねばならない。自ら求めることによつて自ら進むべき道は拓け行くであらう、これこそ農青連本来の課題である。

終りに、村民の皆様が農青連の本質を理解されまして、尚一層の御指導と御援助とを賜わり、共々に榮ゆる我が郷土発展の為に御協和あられんことを御願ひ致します次第であります。

(18)

婚姻の部

大字	氏名	配偶者氏名	備考
金田	岩瀬三郎	日宅 照	滋賀県甲賀郡金剛寺村今郷へ
古来	沼尻あい	飯野一男	筑波郡野川村金北島へ
金田	片岡たけ	高津政雄	筑波郡大穂村金藤崎へ
古来	小島 義	稲見武子	土浦市大字佐野子より
土器屋	平島富男	飯村さく	新治郡利出村大字田宮より
中根	本橋 正	根崎美智子	新治郡安飾村大字岩坪より
金田	沼尻光雄	岩瀬かつ	金田一〇二番地より
土器屋	飯島政子	塚本弥郎	土浦市一四八九番地へ
	平島つた	小田倉源一	新治郡九重村大字花室へ
金田	久保留子	渡辺栄太郎	静岡県賀茂郡竹麻村平石へ

誌上宿題の解答

(今月の宿題わ休載)

火の合羽が正しい

意味わ、昔の合羽は紙に油を利用して出来て居たので火がつくと、あつてなくペロ／＼と燃えてしまふ。

その様に簡単な事を言ふ 栄中一年B組 飯島克己

新年会



二月八日(旧正月三日)土器屋、増山様宅を会場に拜借して、御近所の會員の御骨折りを頂き、日頃、何彼と、御協力を御願ひしている、顧問様方を御招きいたしました。参加者、五十余名、色々の懸装等に、笑ひの正月の一日を、楽しく過しました。

餅織の講習会

講師は會員、金田西坪の社会教育委員、花間なを様、会場は、中学校の裁縫室、運動場等をあて、諸先生方の御配慮を頂き、第一回(二月十一日、日曜日)には、講習生六十余名で、気兼ねない花間先生を迎え、張切つて、餅糸を揃へ、寸法を定め、白く抜く部分を縛り、染屋に出す所までを、詳しく教へて頂きました。第二回目(十八日、日曜日)には染上つた糸に糊村をしたり、後から糸を持つて来られて、餅糸の割出しおする等、熱心に講習を受けられ、次の十九、二十

二十一日の三日間は、学校がお休みでない為、松塚の東福寺を拜借し、幼稚園の一部を開放して戴いて、開催致しました。会場が変わつても、吉瀬の方からも、熱心に自轉車で通はれ、次から次と、糸を持つて来て、教へを受けるものもあり、講師も講習生も、あれほどに身を入れた講習会は、例がなかつたかと思ひました。最後の、二十二、二十三、二十四日は、色々の都合上、初の糸元、太の榎部様方に移り、見事は緋織が出来上り、熱のある講習会も、無事に終り、優秀な成績を、おさめました。

栄将棋会開催

本棋会は会員七十余名を有し、毎月第二土曜日を開催致して居ります。旧正月は特に参加賞を差し上げ、賞品盛沢山にて開催、参加者四十数名、息詰まる様な熱戦を混え、盛大に終りましたが、残念ながら、特賞者はありませんでした。優勝者氏名左の通り、四勝者 沼尻紀 岡田節二 鈴木助次郎 高梨高二郎 岡田実 三勝者 大里国造 沼尻謙増 山鉄五郎 來栖勇平 豊島庄一 久保田泰入 江市太郎 某本辰三郎 吉田賢久 松野

白菜生産費調査説明

農務連産政部

一、期間 廿五年八月自廿六年一月迄 調査範囲は、中根、土器屋、松塚 大上、下、古来、吉瀬各一名
 合計反別一町三反五畝、其の都度労働、現金、現物を各自日記帳に記載し、しを合計、平均したものです。
 一、家族労働費、労働日記帳に毎日の家族労働を時間で集計し、一日八時間の割合で計算し、十月迄、男一日三〇〇円 女二〇〇円 十一月以降 男二五〇円 女二〇〇円
 一、資本利子 生産費の $\frac{1}{2}$ と、調査作物に使用せる土地建物、大農具の使用現価の計に利率、期間を乗じて算出する。
 一、租税公課 各自の所得税、地方税公課の合計を、全耕作反別で割つたもので、正確なる調査作物に対する公課ではなく、多少多くなる。
 一、所得 生産費から家族労働費と、資本利子を引いたものを、総売上げ金より引いたもの。

白菜生産費調査表

反当生産費一覽表

費目	購入材料費	賃借費用	包谷費用	内念費用	計
種苗費	46.17				46.17
肥料費	2,698.82		534.336		8042.8
薬剤費	223.13				223.13
諸材料費	512.09		61.56		573.65
包谷種子費	2,007.10		310.87		2,308.97
小農具費	237.14		187.90		425.04
大農具費		403.06			403.06
雇時費	635.24				635.24
普役費			2,482.50		2,482.50
租税公課	1,936.68				1,936.68
庭物費		281.88			281.88
家族労働費			12,316.21	12,316.21	
資本利子			1,899.06	1,899.06	
合計	8,296.37	684.96	8,377.19	14,215.27	35,737.77

作業別労働表

種目	数量	種目	数量
肥料	4人	定植	57人
薬剤散布	1人	中耕及追肥	4人
收穫荷運出荷	24人	計	47人

反当生産費及収益計算

種目	数量	種目	数量
生産物生産数量	1,075	1x当生産費	2,937
反当生産費	23,522.22	反当生産費	21,314
反当生産費	28,522.22	反当生産費	10,257.66
反当生産費	31,573.77	反当生産費	10,257.66

農事メモ

◇ 地下水が高く、フレームの葉の出が悪い場合は、畝の際一番下に、玉蜀黍などのカマを敷くと良い。
 ◇ 移植したトマトに灌水する場合は、如敷の頭からかけないで、土ビンのやうなもので、畦間に引いてやること、苗の生理を害さない理想の方法である。
 ◇ 胡瓜の移植する際は、床土を適当に濕めらして置いて、移植直後に灌水しない事が秘訣である。

編輯後記

一雨毎に暖かさを増して、梅の固い筈がすっかり開き、雑草は、日一日と青さを増し、総てが永い冬眠から覚めて春の息吹きを初め、活動の鼓動を響かせている。温床の苗はスク／＼と伸び、農村はめまぐるしい時期に入つて来ました。

今月は色々の都合で、発行が大変遅れてしまい申し訳ありません。

朝鮮動乱も茲ニ三ヶ月すつかり膠着状態に入つてしまひ、戦線は余り大きな動きを見ませんが、日本の経済状態は、一日毎に大きな変動を続けて居り、農村経済は何時、如何なる変化を来すか予測出来ません。今月は生産面に於ける村内の権威者の御集りを願つて、生産に関する座談会を開いて頂きました。表面だけの文化村でなく、どんな経済変動にもビクともしない強固な、そして和やかな生産農村を作り上げることが眞の農村文化の建設ではないでしょうか。その意味に於て、今月の座談会は大きな役割であつたと信じます。

常盤線列車		
上り		下り
土浦発	上野着	土浦発
4.42	6.26	6.08
5.36	7.16	7.00
5.56	7.25	7.52
6.16	7.56	9.44
6.56	8.36	10.
7.56	9.36	急 10.55
9.16	10.56	1.17
急 10.12	11.15	3.55
12.04	1.46	5.14
1.22	3.06	6.14
3.21	5.06	7.22
4.46	6.26	急 7.39
5.46	7.26	8.24
7.07	8.15	11.17
7.16	8.56	準 11.36
9.23	吾孫子止	

バス料金表				
土浦	中根	大曾根	古沼	報宗道
0	20円	30円	45円	60円
下妻	中結城	八俣	櫻井	古河
65円	95円	100円	110円	120円

バス上り		
発 駅	中根発	土浦着
大曾根	6.21	6.45
下大古	7.16	7.40
大曾根	9.11	9.35
大古	9.31	10.00
大曾根	11.21	11.45
古大	11.56	12.20
古大	2.56	3.20
古大	3.56	4.20
古大	6.56	7.20
下大古	8.16	8.40

バス下り		
土浦発	中根発	行先
7.05	7.29	古河
8.00	8.24	大曾根
9.50	10.14	古河
11.00	11.24	古河
1.30	1.54	大曾根
4.00	4.24	大曾根
4.50	5.14	大曾根
5.30	5.54	大曾根
6.30	6.54	大曾根
7.30	7.54	大曾根

栄音頭 (候補歌詞)

居よい住みよい栄の里は
可愛トマトの色づく頃は
丸に栄の白菜トマト
トマト可愛や頬紅つけて
丸味ゆたかなこの白菜は
丸に栄は伊達にはつけぬ
花の都でその名も高い
常陸栄の駅名もうれし
栄よいとこ野菜の本場
霧が流れるもう夜が明ける
とちら向いてぬにわか
味の白菜召しませぼんに
滝の体見しぶきにぬれて
誰に好かれた人參牛蒡
一目千石夕陽に映えて
主は土浦私ほ古河へ

わしが生れた村だもの
花の都の人が待つ
花の都の人気者
花の都へお嫁入
一目惚れする玉の肌
舌をまくほどまいた味
味の白菜雪の肌
村に彩る店つゞき
部落九ツ腕くらべ
旭台からほのぼのと
栄名物トマト畑
波表の花ぢやもの
咲いた椿も色を増す
思い／＼の色に出る
村に黄金の波が立つ
常陸栄の駅でまた。

花開蔵書

『原稿募集』

- 一、村民の声、意見希望批判見聞等簡明なもの
- 一、工夫の泉 工夫発見発明等で独創的な物
- 一、右何れも二百字以内、一人各一篇づつ
- 一、電話室原稿 三四行を限度とする 報告通信行事、質疑回答等簡単な交換記事
- 一、論説研究詩歌句等其の他弘報に関する記事
- 一、締切は毎月十日 届先 役場内弘報係宛
- 一、原稿の取捨採決は委員会に一任の事

『さかえ』 第四号

昭和廿五年十一月三日 創刊
昭和廿六年三月十日 印刷
昭和廿六年三月十日 発行

編輯人 栄村公民館弘報委員会
印刷人 土浦市西城町九一九 膳寫堂
かすみ 電話四八九番
発行人 栄村公民館長飯島吉光